

特別協賛: エスティローダー株式会社

あけぼの会春の大会 2014.5.17

自立する患者たち

Program

於: 東京ウィメンズプラザホール on 青山通り 開場・正午 (当日券 1000 円)

13:00 ごあいさつ

総司会: 島崎亮子 (事務局)

会長あいさつ ワット隆子 (あけぼの会会長)

来賓あいさつ 高橋誠 (エスティローダー㈱人事総務ディレクター)

13:10 クラシックアワー チェロとピアノの演奏会

菅野博文 (チェロ) ・ 戸室玄 (ピアノ)

- ・ チャイコフスキー ロココ風主題による変奏曲
- ・ サンサーンス 白鳥
- ・ ラフマニノフ ヴォーカリーズ ほか



14:10~14:30 休憩

14:30 講演 『乳がん治療 — 誰に、いつ、どの薬を、どう使うか?』

講師: 清水千佳子先生 (国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科)

15:00 パネルディスカッション 『再発治療続けながら、仕事も続ける』

廣瀬満重・西村きよみ・星直美・清水千佳子先生・ワット会長

16:00 閉会

廣瀬満重 (52 歳・東京)

2005 年 2 月手術。2008 年 1 月の両肺多発転移、多発骨転移、縦隔リンパ節転移、局所再発発覚から約 6 年半治療継続中です。今迄ゾメタ、ハーセプチン、ホルモン剤 6 種類、抗がん剤 5 種類を使っています。今年 1 月から始めたゼローダ・タイケルブは副作用が酷く、ゼローダ中止、タイケルブを規定量の 4 割に減量して何とか継続中です。仕事はもうすぐ勤続 30 年。初発時 2 か月、ホルモン治療副作用の卵巣嚢腫手術で 1 か月の病欠、再発時に 6 か月休職した以外はフルタイムで働いています。

西村きよみ (51 歳・三重)

2008 年 8 月右乳がん全摘。10 年 1 月左乳がん部分切除、左残存乳房と右鎖骨下に放射線 25 回ノルバデックス内服とリュープリン 11 年 1 月胸椎左側、左第 7 肋骨、上位腰椎に骨転移、ノルバデックスヒスロン H 内服ゾメタ開始。9 月腫瘍マーカー上昇、2nd オピニオンで渡辺亨先生受診。10 月ノルバやめて、フェマラ+ゾメタ、リュープリン再開。12 年 8 月多発骨 (骨硬化性) 増大。13 年 3 月胸、腰椎以外にも骨転移。5CA15-3、転移。180 まで上昇。TS-1 内服を開始+ゾメタ。14 年 1 月骨に痛みがはじめる。胸椎、腰椎に放射線 20 回。

星直美 (47 歳・東京)

2005 年 5 月手術。同年 11 月に再建手術。2007 年修正手術。2008 年乳頭・乳輪再建術。自分の受ける再建の手術の事が知りたくて、かなり細かいことまで自分で調べました。なので、再建の結果は納得しています。

手術後に 1 度転職して、さらにもう 1 度転職しました。2 度目のほうは、なかなか決まらず大変でした。就職活動をするときに、手術体験を告白すべきか否かでかなり悩みました。が、何とか新職場を見つけて今働いています。

主催: Breast Cancer Network Japan—あけぼの会